

# うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵日より

第87号

2025(令和7)年11月26日

(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

## いのちと未来にたねをまく — コットンサミット開催報告 —

令和7年(2025)11月15日(土)、16日(日)に「2025全国コットンサミットin天理—第10回記念大会—」を無事、盛大に、盛況裡に開催させていただくことができました。

テーマは「いのちと未来にたねをまく—SDGs未来を担うこどもたちへ、人生百年時代のその先を見据えて—」。内容は、活動発表と展示販売、WS体験コーナー、懇親会、エクスカージョン(体験型見学会)。

15日の会場は天理市民会館(やまのべホール)。16日のエクスカージョン会場は、H.A.M.A.木綿庵の綿花圃場、天理大学附属天理図書館(以上は全参加者共通)。そして山本松産業株式会社(製綿工場)、rukki & 布都正崇鍛刀場(藍染)、天理大学附属天理参考館(博物館)、天理教教会本部(神殿案内)は希望選択制。

両日の参加者は北海道、新潟、福島、石川、千葉、埼玉、茨城、東京、神奈川、群馬、山梨、長野、静岡、岡、愛知、岐阜、滋賀、三重、京都、大阪、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、香川、福岡、長崎、宮崎、佐賀、熊本、沖縄など、文字通り全国からお越しいただきました。

参加者総数は、約1,200名。内訳は以下の通りです。主催者公式発表。

15日(土) 天理市民会館来場者数 約1,000名 奈良プラザホテルでの懇親会参加者 84名

16日(日) エクスカージョン: 体験型見学会 参加者 124名(バス4台)

なお、今大会は100名余のボランティアスタッフの方々が運営を支えてくださいました。

ご参加くださいました皆様と、ボランティアスタッフのみなさんはじめ、ご支援、ご協力を賜りました皆様にこの場をお借りしまして厚く御礼申しあげます。ありがとうございました。

主催: 2025全国コットンサミット天理実行委員会(会長: 並河健天理市長、実行委員長: 梅田正之 H.A.M.A.木綿庵代表)と天理市との共催。

後援: 奈良県、天理市教育委員会、奈良県中小企業家同友会、天理市商工会、天理青年会議所、NPO法人環境市民ネットワーク天理、天理大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、一般財団法人日本綿業振興会、一般財団法人ボーケン品質評価機構、一般社団法人日本繊維機械学会、阪神園芸株式会社、株式会社 AIST Solution、奈良新聞社、読売新聞奈良支局、天理大学ふるさと会

協力: 今大会の趣旨に賛同しご支援頂いている皆様、ボランティアスタッフの方々はじめ大勢の皆様。



3階大会議室でのWS体験コーナーの様子



ホール正面玄関に掲げられた手作りの看板

### ----- Monthly Data -----

【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 令和7年4月26日～令和7年11月25日)

茨城県2、東京都3、長野県1、大阪府1、奈良県1、和歌山県1、広島県1、島根県1

【H.A.M.A.木綿庵】(令和7年4月26日～令和7年11月25日)

メールを含む各種相談件数15、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数300名以上



## 《コットンサミット天理大会 オープニング》－ 11月15日 － 天理市民会館やまのべホール

天理市民会館(やまのべホール)における開会式に先立ち、オープニングイベントとしてまず天理中学校吹奏楽部3年生のみなさんによるアンサンブル演奏とフラッグパフォーマンスが披露されました。曲目は、中島みゆき『糸』。つづいてイギリス人のドキュメンタリー映画作家Emily Smithさん制作のビデオ『Thread of Time』(時の糸)が上映されました。撮影はH. A. M. A. 木綿庵の綿花園場で行われ、畑で収穫された綿花が糸になるまでの様子が映し出されました。



### 《 開会式 》－ 10:00 ～ 10:40 －

開会式は、全国コットンサミット天理実行委員会の会長並河健天理市長の挨拶につづき、来賓挨拶、祝電披露、「コットンサミットこれまでの歩み」紹介ビデオの上映が行われました。来賓、祝電は下記の通りです。高市早苗内閣総理大臣代理秘書、堀井巖外務副大臣代理秘書、佐藤啓官房副長官代理秘書、山下真奈良県知事代理担当課長、榎堀秀樹天理市議会議長、松下隆全国コットンサミット実行委員会本部事務局総代理、小林茂樹文部科学副大臣(祝電)。



### 《 活動発表 》－ 10:40 ～ 12:00。14:00 ～ 15:00 －

ホールで行われた発表は以下の通りです。①基調発表「大会テーマについて」梅田正之実行委員長。

- ②「福祉の立場から」桂 充正さん。社会福祉法人美吉野園障害者支援施設吉野学園
- ③「工芸の立場から」土屋美恵子さん。つちや織物所
- ④「文化の立場から」福岡佐江子さん。相楽木綿伝承館 機織り教室
- ⑤「工業の立場から」田垣内 健さん。株式会社三笠 奈良工場



### 《 閉会式 》－ 15:00 ～ 15:15 －

閉会式ではまずNPO 法人日本オーガニックコットン協会より表彰が行われ、発表団体の中から吉野学園が選ばれ、前田剛理事長より吉野学園桂充正氏に賞状と記念品が授与されました。その後梅田正之実行委員長による「大会メッセージ」の発表、実行委員長より本部事務局松下総代理に大会旗の返還が行われました。

### 【研修等の記録】

- ・令和7年5月01日 全国コットンサミット天理大会に向けて第11回打ち合わせ会議(天理市農林課にて)。以後、必要に応じて打ち合わせ会議を重ねる
- ・令和7年5月01日 天理市役所玄関ホールに、全国コットンサミット天理大会告知コーナー設置。洋綿天理アブランドの種の無料配布を行う。1ヶ月間の限定設置
- ・令和7年5月03日 全国コットンサミット関連行事「綿の種まき&綿繰り体験」開催。参加者約90名。
- ・令和7年5月14日 天理市立朝和小学校において「綿の種まき特別授業」を担当。1,2時限目を使って、1年1-2組約50名の児童に綿について説明。その後、全員で種蒔き作業を体験
- ・令和7年6月04日 全国コットンサミット天理大会の案内チラシが納品される
- ・令和7年6月04日 一般財団法人ボーケン品質評価機構より、後援名義使用の承認をいただく
- ・令和7年6月04日 全国コットンサミット天理大会の特設HPが公開される
- ・令和7年6月06日 一般社団法人日本繊維機械学会第78回年次大会の学生セッションにおいて講演。テーマは「国産綿花栽培の現状と課題、展望についてー栽培者の視点よりー」(大阪科学技術センターにて)
- ・令和7年6月13日 一般社団法人日本繊維機械学会より、後援名義使用の承認をいただく
- ・令和7年6月15日 全国コットンサミット天理大会案内状封入発送準備作業。天理大学ふるさと会館にて、10時～14時30分。参加者18名。翌々日17日発送。約1,400通
- ・令和7年6月21日 全国コットンサミット関連行事「綿の観察会ー摘心の要領ー」開催
- ・令和7年6月24日 国立研究開発法人産業技術総合研究所より、後援名義使用の承認をいただく
- ・令和7年6月25日 阪神園芸株式会社より、後援名義使用の承認をいただく
- ・令和7年7月23日 株式会社AIST Solutionsより、後援名義使用の承認をいただく
- ・令和7年7月25日 「全国綿花栽培概況調査」について公開記者会見を行う。(天理市文化センター)
- ・令和7年8月10日 第1回コットンクラブミーティング/ボランティアスタッフ会議。20名。(市民会館)